

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長持ち快適東海の家

グループの名称

東海・長期優良住宅友の会

直近採択グループ番号

04-0550-0391

(グループ代表者)

代表者名

吉田 耕人

代表者印

代表者所属先

株式会社N-town

代表者所在地

岐阜県岐阜市江添二丁目7番13号辻徳ビル2F

代表者電話番号

05-8214-8661

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社N-town

事務局担当者名

新井 竜也

印

事務局郵便番号

500-8383

事務局所在地

岐阜県岐阜市江添二丁目7番13号辻徳ビル2F

事務局電話番号

05-8214-8661

事務局FAX

05-8214-8662

事務局担当者E-mail

t-arai@n-town.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		15	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	15	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	6	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	長期優良住宅の未経験の工務店を優先的に最低1棟配分し、その他受注が確実視されている工務店へ優先的に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	18	戸	交付申請戸数	18	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	18	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長持ち快適東海の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 東海・長期優良住宅友の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0550-0391	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◆伊勢湾台風等の自然災害や遠州灘沿岸から紀伊半島にわたる一帯で今後予想される『東南海地震』による被害をもっとも受ける地域であり、地震災害に対する意識が非常に高い地域でもある、引き続き安心安全で暮らせる高性能な住宅づくりを目指している。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◆冬場でも太平洋を望む比較的温暖な地域ではあるが、夏場は高温多湿状態が続く地域でもある。自然風を出来るだけ取り込み環境に負荷をかけず、太陽の光や風をうまく取り入れながら、自然と仲良く暮らすハッピー設計を目指している。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◆気候・風土の特質を上手に活用してきた先人の知恵や工夫を取り入れながら、環境と人にやさしい断熱材、窓開口からの自然光、太陽光発電を始めとするエネルギー関連設備まで、最先端の省エネルギー技術を組み込んだオリジナルな住まいづくり、奇抜さに走ることなく、後世に残したくなるような、飽きのこないシンプルなデザインを目指している。	◎
④①～③の背景	◆地域の気候・風土にあった良質で特徴的な『地域型住宅』の供給に取り組み、地域における木造住宅生産・維持管理体制の強化を図り、地域経済の活性化及び持続的発展、地域の住文化の継承及び街並みの整備、木材自給率の向上による森林業の再生等に寄与することを旨としている。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆基本性能として耐震等級3を確保する。 ◆3階建て等で耐震等級3の取得が困難な場合は耐震等級2を確保する。	◎

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆耐震性能確保に重要な構造ユニット部分(設計ルール)は設計段階で使用する横架材の梁せいの統一を図り、使用する構造部材のアイテム数の共有化を図る。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆標準仕様書を作成しモジュールに見合った長さの部材を使用し、商品寸法の標準化や商品アイテムを標準化する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆モジュールに見合った長さの部材を使用し、商品寸法の標準化や商品アイテムの標準化を図る	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆設計ルールを理解し設計段階から可能な限り部材の共有化、標準化を図ることによりコストダウンに努める。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆設計ルールを理解し設計段階から可能な限り部材の共有化、標準化を図ることによりコストダウンに努める。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ◆設計から発注・納品までの生産計画をグループ全体で把握することにより、商品寸法の標準化、共有化の協議会を行う体制を確立する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ◆設計段階から発注・納品までの生産計画をグループ全体で把握することにより標準化を図り、無駄のない生産体制を事務局が中心となり作り上げていく。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ◆地盤調査を必ず実施し安全を担保した上での設計を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ◆住宅性能の担保に大きく影響する部分については工事記録書に基づきグループ内でインナーチェックを行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ◆木拾表、部材積算表、共有化できる使用部材の一覧表を作成し、共通項目による見積もりを作成する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ◆工事記録書に基づいた検査を行い、消費者に対して信頼性を高める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆消費者にも安心してご利用いただくために、合法木材には、産地から製造年月日、製造工程に至るまでトレーサビリティを徹底していく。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長持ち快適東海の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 東海・長期優良住宅友の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0550-0391	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 住宅履歴情報の蓄積		
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆住宅履歴の保存方法、実施方法、点検項目等を整備し消費者が一体となり安心安全に暮らせるようにワーキンググループを設置する。	○
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆住宅履歴の保存方法、実施方法、点検項目等を整備し消費者が一体となり安心安全に暮らせるようにワーキンググループを設置する。	○
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆住宅履歴の保存方法、実施方法、点検項目等を整備し消費者が一体となり安心安全に暮らせるようにワーキンググループを設置する。	○
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆住まい手のための維持管理ガイドライン・セルフメンテナンスチェックシートにて住まい手自身がチェックをおこなえるように誘導していきたい。	○
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆『定期点検チェックリスト』による定期点検を実施する。 ◆補修工事をした場合には記録を『点検・補修記録シート』と一緒に保管する。	○
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆『定期点検チェックリスト』による定期点検を実施する。	○
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆施工業者が住まい手に対して簡易的にセルフメンテナンスが出来るように実演を交えながらの説明会を実施する。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆住まい手のための維持管理ガイドライン・セルフメンテナンスチェックシートにて住まい手がチェックを行えるように説明会を行う。	○
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆各物件ごとに現場見学会を行いセルフメンテナンスが出来るように説明会も同時に開催する。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆事務局が主体となり推進していく。	○
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆施工構成員が事業の継続を断念したり、廃業によって維持管理ができなくなった場合はグループ内の他の施工構成員を紹介する。	○
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆事務局が主体となり推進していく。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆長期優良住宅の未経験の中小工務店に対して既に実績のある施工店が中心となり仕様説明会や技術、設計勉強会を行う。	○
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆共通納まり詳細図を運用し品質性能を担保する。	○
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆本事業の開始時期にとらわれず、早期に事務局がグループ構成員を集めて概ね3か月に1回程度説明会を実施する。	○
③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆長期優良住宅経験工務店メンバーの実際の建築現場において、経験者による勉強会をおこなう、技術の習得を行う。	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 20	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 20	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆省エネ技術講習会の参加促進を事務局が主体となり促進していく。	○
c		
① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆新しい技術として多岐にわたる生活スタイルの変化に対応できるように建設地域にあった住宅を提案しワーキンググループで協議して行く。	○
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆都市型狭小地対応の家、大空間をうたった家、SI住宅の推進等各構成施工員がアイデアを持ち寄り、協議を重ねていくこととする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長持ち快適東海の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 東海・長期優良住宅友の会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0550-0391	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	◎
①	共通ルール(必須) ◆主たる構造材(土台・梁・桁・柱)には合法木材を使用する。 ◆下地材(間柱・窓台・窓まぐさ・他)には合法木材を積極的に使用する。	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
③	標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している ◆合法木材の一部に関して明確な産地・出荷者が特定できない場合があるが、グループの構成員による出荷であれば合法性を証明する事により同等の扱いとする。	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 <pre>graph LR I[I 原木供給者] --> II[II 製材・集成製造 合板製造 事業者] II --> IV[IV プレカット 事業者] IV --> III[III 建材・流通 事業者] III --> VI[VI 施工会社] V[V 設計事務所] --> VI</pre> <p>合法性・持続可能の証明に関わる協定</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆プレカット入力積算時に使用する部材の数量を見込み、常に適正な在庫管理を行う。	○
①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ◆各プレカット工場発信で価格の変動予測を事務局に随時報告を行う。	○	
② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆木造公共物件等の需要もあり地域材が品薄になることも予想される。	◎	
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆今年度の使用予定枚数(1畳換算) 240枚	○
①-2 和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆今年度の使用予定枚数: 200坪	○	
①-3 襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆今年度の使用予定枚数 40枚(1間換算)	○	
①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆今年度の使用予定枚数 40枚(1間換算)	○	
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆木の空間(床・壁・建具・キッチン等)を構成する部材には積極的に地域材・無垢材の使用提案していく。	○	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆木の空間(床・壁・建具・キッチン等)を構成する部材には積極的に地域材・無垢材の使用提案していく。	○	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆伝統的工法や地域独特の技にみられる技法の要素も地域性をあらずデザインの一つである。地域の伝統建築物を継承していく。	○
② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆伝統的工法や地域独特の技にみられる技法である匠の技を後世に伝えるよう講習会等を実施する。	○	
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆それぞれの地域の自治体等による地区計画等周辺地域の景観に配慮する。	◎	
④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ◆地域の気候・風土・文化に根ざした空間・意匠・構法・材料などの住まいづくりの知恵が息づいていますが、近年はこうした伝統的な住まいづくりとともに、そこから生み出された暮らしの文化も失われつつあり、和の住まいや住文化の良さの再認識、伝統技能の継承と育成、伝統産業の振興・活性化等を図っていく。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◆地震に強い家造りを提案すると共に、住宅全体のエネルギー効率を良くする事によって、長期にわたって住みやすい家づくりを目指す。 ◆地域の気候風土を熟知した地域ビルダーによって、地域の特性を活かした効率的なパッシブ住宅を提案していく。	○
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 長持ち快適東海の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 東海・長期優良住宅友の会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0550-0391	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。